

南区社協・福祉だより

〔編集・発行〕

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
 広島市南区皆実町一丁目4-46 南区地域福祉センター内
 TEL 251-0525・251-0505 FAX 256-0990
 E-mail: minami@shakyohiroshima-city.or.jp

わたしのまちの地(学)区社協

広島市域では、概ね小学校区の範囲で地(学)区社会福祉協議会(略称、地(学)区社協)が組織されています。南区には16の地(学)区社協があり、それぞれ皆さんが安心・安全に暮らしていくことができるまちづくりのための取組みを進められています。その地(学)区社協の取組みを紹介します。

青崎地区社協「進む福祉のまちづくり」

青崎地区は、南区の東部に位置し、古い歴史とともに自動車関連工場が立地する製造業の町です。

少子高齢化、近隣関係の希薄化が進んでいく中で、それらの解決に向けた活動が望まれ、地域の皆さんが中心となって様々な活動を進められています。

その中でも特徴的なのが、各町内に1名ずつ「福祉委員」を選出していることです。福祉委員は、平成15年から16年にかけて、地区ボランティアバンク(※1)の活動を進めていくため、各町内会から選出されました。今は主に民生委員・児童委員や町内会などと連携し以下の活動の中心となっています。



▲みんなで楽しく会食です

ふれあい・いきいきサロン活動

ひとり暮らし高齢者などのふれあいを通しつながりを深めていくための場である「ふれあい・いきいきサロン」の企画・運営などに取組んでいます。

ひとり暮らし高齢者等の見守り活動

各町内会、民生委員・児童委員、福祉委員が中心となり、ひとり暮らし高齢者の訪問見守り活動をはじめ、気がかりな人たちへの声かけ、情報交換などに取組んでいます。



▲餅つきも好評でした

ささえ合い・助け合いの活動

ふれあい・いきいきサロン運営のための協力をはじめ、各町内会、民生委員・児童委員と協力し、地域の中でちょっとした手助けを必要とされる人への相談・援助活動などに取組んでいます。

(※1) 地区ボランティアバンク：誰もが安心して暮らすことができるまちづくりのため、ゴミ出し蛍光灯の交換などちょっとしたお手伝いによる支え合いの活動

(※2) 福祉のまちづくりプラン：地区ごとに取組んでいる様々な活動を皆さんに知っていただき、参加してもらい、発展させていくため、概ね5か年先までの活動を取りまとめた計画

これらの活動を進めていくため、2ヶ月ごとに福祉委員会を開催し、情報交換や活動をよりよいものとするための協議の場を設けられています。また、福祉のまちづくりプラン(※2)の推進や児童の登下校の見守りなど、福祉に関する各町内会単位の活動の中心的な役割を町内会長、民生委員・児童委員とともに担っています。これらの活動を進めていく中で、皆さんが顔を合わせる機会も多くなり、つながりが深まったと感じられている人も多くいます。

現在は、平成20年3月に策定した「福祉のまちづくりプラン」の実施から5年が経過しようとしており、次期計画の策定に向けての取組みを進められています。

宇品公民館 手話サークル「はーと」

今年度宇品公民館で開催した「手話ボランティア入門講座」を受講した方をを中心として、宇品公民館を拠点とした手話サークル「はーと」が誕生しました。メンバーも手話が初めてという方がほとんどですが、「楽しく学びながら、将来的にボランティアにつなげていきたい」という目標で2月15日(金)に第1回目の活動が始まりました。初回の活動日に取材に訪れましたが、初回にもかかわらず、その日はなんと10人もの方々が集まっておられました。初対面のメンバー同士すぐに打ち解けられ、笑いの絶えない2時間となりました。

今回サークル立ち上げのきっかけとなった講座の共催である、宇品公民館は「みんなが焦らずゆっくりと学んで、楽しい雰囲気集まってほしい」とサークルの成長に期待されていました。まだできたてほやほやのサークルですが、ゆくゆくは宇品公民館を代表するようなボランティアサークルへと成長してほしいですね。

これから手話を学ぼうとされている方に「楽しく学べるとお思いますので、ぜひ来てください」とサークル代表メッセージをいただきました。宇品公民館で手話を学びたい、興味があるという方は、この機会に「はーと」の活動に参加してみませんか？

活動日時：毎月第1・3金曜日 10:00～12:00

活動場所：宇品公民館

南区宇品御幸4丁目1-2

TEL082-253-2529



みなさん楽しみながらもう一生懸命です

「断捨離で部屋も心も気持ちよく」

皆さんは「断捨離」という言葉を聞いたことはありますか？

南区ボランティアグループ連絡会では今回、やましたひでこ公認断捨離トレーナーの太田朝子さんを講師として招き、「断捨離講座(入門編)」を開催しました。断捨離とは、整理整頓を通して、「もったいない」といったモノへの執着心から解放し、限られた空間を有効に活用し、より豊かに生きていく考え方です。

例えば、「記念品の食器だから」「サービスでもらえるから」といった誘惑から、家にモノを溜め込んでしまい、いざ捨てようと思っても「もったいない」という気持ちがそれを邪魔してしまい、結果的に家の中の貴重な空間をいらぬモノで埋め尽くしてしまいます。そんな状況からどのようにして抜け出せばよいかを、太田さんの講義で学びました。

当日は76名ものボランティアさんに参加していただき、皆さん講義を熱心に聞いておられました。参加者からは「さっそく帰ったらやってみたい」「続編を聞きたい」「自分は意外に断捨離に向いている」といった感想が上がり、今回の講義の反響の大きさに驚かされました。



みなさん熱心に聞かれました



講師の太田朝子さんです

機材の貸し出しをおこなっています

南区社会福祉協議会では、様々な機材の貸出しを行っています。どの機材も数に限りがございますので、ご希望の方はあらかじめお電話等でお問合せをお願いします。

南区社会福祉協議会 ☎251-0525

福祉機材

●車いす

本会貸出し用の車いすには自操式と、介助者に押しってもらう介助式の2種類があります。(電動車いすの貸出しは、行っておりません) ご希望の日時(土日・祝を除く8:30~17:15の間)より貸出しを行います。原則2ヶ月以内の貸出しが可能です。ただし、在宅でのご利用が前提ですので、入院・入所の方が病院・施設内で利用されるためには貸出しできません。また、数に限りがありますのでご希望にそえないこともあります。



●点字板

点字板とは視覚に障がいがある方が、私たちが鉛筆で文字を書くのと同じように点字を打っていくための道具です。現在はパソコンで点字変換用のソフトを使用して作ることが多いのですが、視覚障がい者が点字を学ぶときなどに利用されています。南区社会福祉協議会では、学校などに点字学習用として貸出しを行っています。

レクリエーション機材

●クップ

クップとはスウェーデンで薪(まき)のことで、1,000年以上前にスウェーデンの海賊(バイキング)たちが考案した遊びが原点となって、今はスポーツレクリエーションとして普及しているものです。

基本的な遊び方は2チームに分かれ、それぞれのチームの陣地に5本のクップを横1列に並べて、敵チームが「カストピナ」と呼ばれる丸棒6本を相手クップめがけ投げ入れるというものです。これを両チーム繰り返し、先に相手陣地のクップ5本全て倒したチームがフィールドの中心に置かれたキングと呼ばれる大きなクップを狙う権利を持つことができます。そして、このキングを倒したチームが勝利となります。クップは老若男女、室内外問わず楽しむことができます。

●ダーツ

レクリエーション用具としてのダーツセットを貸出ししています。ダーツの矢先はピンではなく、子どもから高齢の方まで安心してご使用いただけるマジックテープ式になっています。

●その他

これからの他にもスコア表とシート、ピン、ボールがセットになったボウリングセットや、輪投げセットなども貸出ししています。みなさん、健康づくりのためにスポーツを通して体を動かしてみませんか!!

ボランティアグループ 「スマイリング」です

「スマイリング」は、南区社協が主催する学生向けのボランティア講座の受講生が中心となって、平成17年4月に発足した学生主体のボランティアグループです。

活動は主に、広島市手をつなぐ育成会南区支部の障がい児・者活動「マイキーズ」の行事援助をしています。

月に数回のミーティングを行い、レクリエーションの内容等を検討・準備して、毎月開催される「マイキーズ」で行っています。

現在メンバーを募集中!興味のある方はぜひ一度見学に来てください。まずはミーティングだけの参加も大歓迎です。



スマイリングの活動の様子

連絡先/

広島市南区社会福祉協議会

☎(082)251-0525

平成25年度 ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、ボランティアがボランティア活動中の事故によりケガをされた場合や事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。

加入条件等もございますので、加入を希望される人は、南区社協までご相談ください。

年間保険料

基本タイプ	天災タイプ
A 300円	天災A 460円
B 450円	天災B 690円
	(基本タイプ+地震・噴火・津波)

補償期間(保健期間)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

南区の仲間になりました よろしくお願ひします

昨年、9月に広島市特別支援学校が、新校舎の完成と共に出島四丁目に移転・開校しました。移転・開校から半年が過ぎ新年度を迎えます。新たに南区の仲間となられた同校を皆さんに知ってもらいたいと思い、同校の中尾校長先生にこれからの目標などについて伺いました。

☆移転前を比べて何か変化はありましたか？

建物が新しくなり、最新設備を導入したことで、学習環境がよくなりました。子ども達もいい環境で学ぶことは大変、大事なことです。

☆移転して半年が経過しますが、児童・生徒、保護者の皆さんの評判はいかがでしょう？

大変好評です。8月の見学会の時には、3,700人を超える人が見学に来られました。それだけ、学習環境について関心が高い方が多かったのだと思います。また、今でも遠方から見学に来られる方も多くいらっしゃいます。

最新設備を導入し、子ども達に最良の学習環境を提供することができるようになりました。子ども達の学びのために学習環境を整えることがどれだけ大事なことが発信していきたいと思っています。



▲最新技術が導入されています



▲中尾校長先生にお話しを伺いました

☆南区のみなさんに知ってもらいたいことはなんでしょう？

まず、本校が移転・開校することについて、皆さんから反対意見はなく、ご協力をいただいたことについてお礼を言いたいです。

そして、知的な障がいのある子ども達の学校生活について知っていただきたいです。文化祭など、皆さんに参加していただける行事が多くありますので、参加いただき、子ども達の学校生活を知ってもらえればと思います。

また、本校には、「サポートセンター」があり、相談員が常駐しています。相談機関としての役割もありますので、そのことを知っていただき、ご利用いただければと思います。

☆これからの広島市特別支援学校の目標は何でしょう？

一人一人の教育環境を充実させていくことです。また、児童・生徒が自信と誇りをもって本校を卒業し、卒業後、自立し、社会参加できる力を身に付けられるよう頑張っていきます。

住 所／広島市南区出島四丁目1-1
電 話／(082)250-7101
F A X／(082)250-7102(事務室)

広島マック作業所 ～今日を生きていくために～

「広島マック作業所」は、大阪の「メリノール・アルコール・センター」の回復プログラムを受けた方が、広島で同じような悩みを抱えている人たちの力になりたいと、平成11年2月27日に立ち上がりました。当時は、西日本にアルコール依存症からの回復のための施設はありませんでしたが、翠町カトリック教会や広島県病院のスタッフの援助を受けて活動を続けてこられました。そんな「広島マック作業所」のことを知ってもらうため、「広島マック作業所」の皆さんにインタビューをしました。

☆「広島マック作業所」は、どんな場所でしょう？

アルコール・薬物依存症の人たちが「今日を生きていくために」人生を作り直していくための場所です。

☆「広島マック作業所」のセールスポイントは何でしょう？

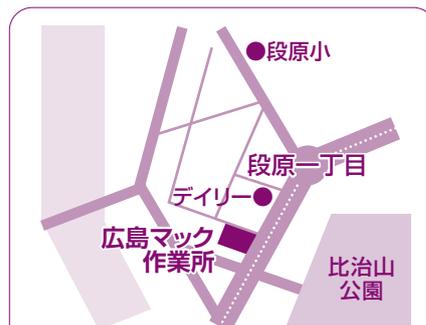
普段はミーティングを中心としたプログラムを行っていますが、1か月に1回程度レクリエーションを行い、楽しい時間を作っています。また、餅つきをとおして子ども達と交流したりしています。

☆みなさんに知ってもらいたいことは何でしょう？

アルコール・薬物依存症は、病気であり回復するものであることを知ってもらいたいです。また、アルコール依存症で悩んでいる人は自分を大切にすることができない人が多いのですが、みんな頑張って変わっていくことを知っていただきたいです。

☆これからの「広島マック作業所」の目標は何でしょう？

アルコール依存症は回復する病気であり、広島マック作業所はそれを援助するための場所です。だから、ここで過ごすことが目的ではなく、ここに通われている皆さんが、回復しここに来ないですむようになるよう一緒に歩いていくことが目標です。



住 所／広島市南区比治山町1-12
電話(FAX兼)／(082)262-6689

活躍してます!! ひろしま♡あび♡隊

わかりやすく、楽しく参加できる疑似体験を通して、知的障がいへの理解をすすめるため、「ひろしま♡あび♡隊」が結成されました。メンバーは知的な障がいのある子ども達のお母さんたちで、「コミュニケーションが上手くとれない子ども達のことを知ってもらいたい」という思いで集まりました。結成にあたっては、埼玉県入間市で「わかりやすく、楽しく、参加できる疑似体験」を实践されている「くれよんの会ピーチク隊」の皆さんに全面的なご協力をいただきました。

「あび隊」は、「ピーチク隊」の広島版とも言え、広島県の鳥「あび」からとって「ひろしま♡あび♡隊」と名付けられました。前後のハートは、あびの羽をイメージしていて、「大きく羽ばたいていけるように」との思いが込められています。

知的障がい疑似体験のひとつ「あび王国へようこそ!」では、「あび!あび!」の言葉しか使えない架空の国を想定し、その国の女王の伝えたいことをいかに理解し、その要求に応えるかを体験することで、コミュニケーションがとれない不安やもどかしさを実感してもらいます。

また、「言葉を絵にしてみよう」では、「りんご」、「ボール」は絵で描きやすいけれど、「少し」、「きちんと」などは絵で表現することが難しく、知的障がいの人にとってはとてもわかりにくいことを体験します。

このような体験を通して、物の見方、感じ方、捉え方が少しだけ違う知的障がいの人々の世界を感じてもらい、一人でも多くの人に正しい理解を広めていくために、あび隊の今後ますますの活躍が期待されます。

南区では、今年度8月に開催した学生向けボランティア講座「南区ボランティア・チャレンジナビ」でデビューし、大変好評でした。



南区ボランティア・チャレンジナビでの様子1



南区ボランティア・チャレンジナビでの様子2

「南区 社会資源ガイド」が完成しました

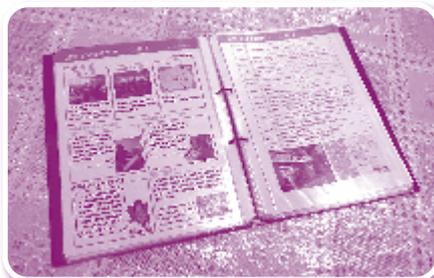
～ 広島市障害者自立支援協議会 南区地域部会より ～

広島市障害者自立支援協議会(以下、「自立支援協議会」)は、障がいをもった人たちが安心して自立した生活が送れるよう、地域で障がいを持たれた人を支援する関係者のネットワーク作りや、相談活動を効果的に行っていくため、立ち上げられました。

南区には、その自立支援協議会の南区地域部会(以下、「南区地域部会」)があり、南区内の相談支援事業所や区役所、障がい者施設、社協の人たちがメンバーになっています。南区地域部会では、南区内にある各機関や障がい関係の事業所をもっと皆さんに知っていただき、どんな風に使うことができるかを知ってもらいたいと、「南区 社会資源ガイド」の編集を進めてきました。南区地域部会のメンバーが実際に南区にある福祉施設などの事業所等に伺い、取材をし、利用者の声を聴き、写真を多く取り入れるなどの工夫を凝らし、実際の雰囲気伝えることを目指しました。

また、今後事業所などが増えた時に、加えることができるようファイル式になっています。出来上がった「南区 社会資源ガイド」は、区役所や各機関、事業所などに置かれますので、皆さん、ぜひご覧になってください。

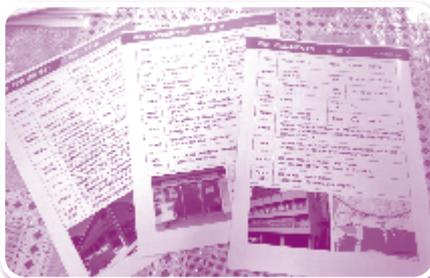
〈お問合せ〉 広島市障害者自立支援協議会 南区地域部会 事務局
地域生活支援センター ふれあい
電話(082)250-7830 FAX(082)250-7831



ファイル式で加除ができます



自立支援協議会のメンバーで作業しました。



中身はこんな風になっています

南区社協では ご寄付を募集しています。

- 物品は、古切手・アルミ缶・車いすなど。(バスカードの受付は終了しました。)
- 金銭は、祝い返し・香典返し・各種募金・チャリティーバザーやコンサートの収益金など。
また、社会福祉法人に寄付された場合、寄付金控除の対象となります。寄付を希望される場合は直接南区地域福祉センターにご持参下さい。地域の皆さまからいただきました寄付は南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

「主な自主財源の事業」

- 地域福祉活動推進事業
 - ・地区(学区)社協活動の援助
(いきいきサロン活動費等)
- ボランティア活動推進事業
 - ・ボランティアセンターの運営
- 心配ごと相談事業
- 福祉事業
 - ・老人福祉事業
 - ・児童福祉事業
 - ・障がい児(者)福祉事業
- 広報事業
(お申し込み・お問合せ)
社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
電話 251-0525

愛の灯火

いつもご寄付のほどありがとうございます。
皆さまからお預かりしたご寄付は、南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

寄付物品 1月28日～3月25日まで

●寄付物品

ひまわりサロン 様(皆実町)
宮崎 弘光 様(宇品海岸)
松延 壽恵子 様(丹那ハイツ)
元村 操 様(丹那ハイツ)
みどり会 様
岡田 憲明 様・平川 加恵子 様(東本浦・北大河)
がんの子どもを守る会 陽だまり 様
北野 太則 様(宇品東)
放射線影響研究所 労働組合 様(比治山公園)
甲藤 義弘 様(山城町)



南区社協では賛助会員を 募集しています!!

64口の申込がありました(3月11日現在)

南区社会福祉協議会では、誰もがいきいきと安心して暮らせる『福祉のまちづくり』に取り組んでいます。いただいたお金は、地域で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」事業の財源にいたしますので、地域への還元になります。南区の福祉をますます充実させていくためにも、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

■賛助会員(個人・団体)

- ・1口 1,000円
- ・何口でもご加入いただけます。
- ・ご加入については下記までお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
〒734-8523 広島市南区皆実町一丁目4-46
TEL.082-251-0525
FAX.082-256-0990

～あなたの募金は、あなたの町へ～ 赤い羽根共同募金 結果報告

今年も、「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございました。

おかげさまで、平成25年3月11日現在、南区の地域・企業・団体の皆様からの募金は、総額8,317,239円に上りました。

赤い羽根共同募金は、県単位で集約されて、配分委員会によって地域の福祉活動に配分されます。南区内の社協関係では、南区社協で毎年実施している「ボランティアフェスティバル」や在宅介護者の集いの開催、本広報誌の発行に使わせていただくほか、各地区社協で行われている「福祉のまちづくり事業」で「ふれあい・いきいきサロン」や「地区ボランティアバンク」などの取り組みを進めるために使われています。

この場をお借りして、募金をくださった地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申しあげると共に、今後とも、「じぶんの町を良くするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしく願いいたします。

この広報紙は
共同募金の財源により作成いたしました。

